

⑫ 公表特許公報 (A)

平4-507106

⑬ 公表 平成4年(1992)12月10日

⑭ Int. Cl.⁵

A 61 K 39/385
39/00
47/04

識別記号

G
E

庁内整理番号

8413-4C
8413-4C
7329-4C

審査請求 未請求
予備審査請求 未請求

部門 (区分) 3 (2)

(全 5 頁)

⑯ 発明の名称 ヒドロキシアパタイト-抗原結合体及びポリ-IG免疫応答を生成する方法

⑰ 特 願 平3-507783

⑱ 出 願 平3(1991)4月16日

⑲ 翻訳文提出日 平3(1991)12月16日

⑳ 国際出願 PCT/US91/02599

㉑ 国際公開番号 WO91/16072

㉒ 国際公開日 平3(1991)10月31日

優先権主張 ㉓ 1990年4月16日 ㉔ 米国 (U S) ㉕ 510,154

⑳ 発 明 者 クレーエンブル、ジャンービ
エール

スイス連邦セアシュール1812 リヴァクス、スー・ラ・クロワ (番
地なし)

㉑ 出 願 人 プレジデント・アンド・フェロ
ーズ・オブ・ハーバード・カレ
ッジ

アメリカ合衆国マサチューセッツ州02138, ケンブリッジ, クイン
シー・ストリート 17

㉒ 代 理 人 弁理士 湯浅 恭三 外5名

㉓ 指 定 国 AT (広域特許), AU, BE (広域特許), BF (広域特許), BG, BJ (広域特許), BR, CA, CF (広域特
許), CG (広域特許), CH (広域特許), CM (広域特許), DE (広域特許), DK (広域特許), ES (広域特許),
FI, FR (広域特許), GA (広域特許), GB (広域特許), GR (広域特許), HU, IT (広域特許), JP, K
P, KR, LU (広域特許), ML (広域特許), MR (広域特許), NL (広域特許), NO, RO, SE (広域特許),
SN (広域特許), SU, TD (広域特許), TG (広域特許)

最終頁に続く

請求の範囲

1. 活性成分と水酸化リン酸カルシウムとが組み合わされた複合体を、哺乳動物の粘膜表面に投与することからなる、活性成分を哺乳動物に投与する方法。
2. 水酸化リン酸カルシウムが上皮細胞を通過する輸送に適した粒子形で存在する請求の範囲第1項記載の方法。
3. 複合体が、抗原または抗原混合物と水酸化リン酸カルシウムとが組み合わされた免疫原である請求の範囲第1項記載の方法。
4. 複合体投与によって、抗原に感作された哺乳動物中においてIgA-産出性リンパ芽球が生産される請求の範囲第3項記載の方法。
5. 免疫原投与によって哺乳動物を予防接種し、粘膜を通して導入された、抗原を有する物質に対して哺乳動物を保護する請求の範囲第3項記載の方法。
6. 抗原が、外的に入手しうる病原体または精子の決定基からなる請求の範囲第3、4または5項記載の方法。
7. 抗原がウィルスコートタンパク質、ウィルスエンベロープタンパク質、細胞表面リボ多糖または細胞表面タンパク質である請求の範囲第3、4または5項記載の方法。
8. 抗原を経口、経膣、経鼻、経眼、経聴または中耳に投与する請求の範囲第3、4または5項記載の方法。
9. 哺乳動物から複数のリンパ芽球を分離し、これを不死のものとし、不死リンパ芽球の中から、上記抗原と特異的に結合しうるIgAを分泌する少なくとも1個の不死リンパ芽球を同定することを更に含む請求の範囲第4項記載の方法。
10. 活性成分と、活性成分と共に上皮細胞を通過して輸送されるのに適したサイズの水酸化リン酸カルシウム微粒子とを組み合わせる組成物。
11. 複合体が哺乳動物の粘膜免疫応答を高めるための免疫原であって、活性成分が、免疫応答が所望される抗原決定基からなる請求の範囲第10項記載の組成物。
12. 抗原決定基が外的に入手しうる病原体または精子の決定基である請求の範囲第11項記載の免疫原。

13. 抗原決定基がウィルスコートタンパク質、ウィルスエンベロープタンパク質、細胞表面リボ多糖または細胞表面タンパク質の決定基である請求の範囲第12項記載の免疫原。

明細書

ヒドロキシアパタイト-抗原結合体及び
ポリ-IG免疫応答を生成する方法

【発明の背景】

本発明は米国政府からの部分的資金援助によりなされ、米国政府は本発明に一定の権利を有する。

本発明は受動粘膜炎免疫、及びポリ-IG免疫試験並びにその手法に関する。ポリ-IGの図は抗体、即ちIG A及びIG Mの重合体クラスを表すのに使用する。IG M抗体は一般に免疫応答の初期段階で産出され、保護的粘膜炎免疫においては重要な要因でない。従って、本発明は一般的には重合体IG抗体に関し、本発明のあらゆる面における通常の好ましい抗体はIG Aクラス抗体であり、この抗体は通常二量体で、時にはより大きなIG A重合体として分泌される。

多くの病原性バクテリアやウィルスは胃腸管、呼吸器または生殖系の細胞内層（上皮細胞）を通過して体内にまず最初侵入。特定の抗体クラスであるIG A抗体はこの表面を保護する。IG A抗体は上皮細胞表面下の組織に位置する細胞によって産出される二量体または重合体分子である。IG A抗体は上皮細胞によって粘膜炎分泌まで運ばれ、そこでまだ体内に入っていない病原体を阻害または覆ってしまい、病原体が上皮細胞と接触したり付着したりするのを防ぐ。かくしてIG A抗体は体の外側にある病原体に作用し、これが上皮細胞表面を通過して体内に侵入するのを防ぐことにより保護する。

自然に起こるIG A応答は粘膜炎への抗原の接触により引き起こされる。抗原は特異的サンプリング部位（ミクロフェールドまたはM細胞と呼ばれる）を通過して体内に入り、このサンプリング部位は、粘膜炎免疫細胞の特定の組織化されたコレクションを含む粘膜炎内層領域への経上皮抗原輸送に影響を及ぼす。より詳しくは、図1に示すように、粘膜1にある抗原A（黒丸で示したもの）が部位2におけるM細胞の単腔腔内に結合する。抗原は3においてインターナライゼーションされ、トランスサイトーシスされて、リンパ球（B及びT細胞）や、マクロファージ細胞（M）のような抗原-処理/提供細胞を含む上皮細胞ポケット4中に放

ら保護する試みでは、モノクローナルIG A抗体を産出し、呼吸粘膜炎面に直接適用した [Maxon et al., *J. Virol.*, **61**: 2624-2626 (1987)]。

粘膜炎免疫は完全な（死に）バクテリアまたはウィルスを粘膜炎表面でチャレンジすることを含む。ある種の病原体にこの方法を用いることに関連する危険性を避けるために、病原体の免疫原表面成分のような成分抗原を粘膜炎表面で用いる。また、抗原を大きな分子と結合させることもある。例えばコレラ毒素Bサブユニットを抗原と結合する。コレラ毒素Bサブユニットと結合した運搬球表面抗原の経口投与を報告するCzerkinsky et al., *Infection and Immunity*, **51**: 1072-1077 (1989) を参照されたい。生物分解性の中心体 (microsphere) も抗原担体として用いられた。例えば、Eldridge et al., *Curr. Top. Microbial Immunol.*, **146**: 59以降 (1989) は抗原の生物分解性中心体への取り込みを報告する。乾燥タンパク質抗原をポリマーマトリックスに化学結合させることなく分散させる。

【発明の開示】

我々は水酸化リン酸カルシウム (hydroxylated calcium phosphate: HCP) 粒子が粘膜炎表面を通過して行う治療に特に有用な担体であることを発見した。HCPと治療的に活性な成分（例えば抗原または医薬品のような生物学的に活性な物質）との結合体は上皮細胞を通過して輸送され、そこで所望の治療的応答、例えばポリ-IG免疫応答の増強をもたらす。

本発明は最も一般的な形では、水酸化リン酸カルシウムと活性成分との複合体を哺乳動物の粘膜炎面に適用することにより、哺乳動物に活性成分を投与することと特徴とする。

本発明に特有の実施態様は一般的に、抗原感作IG A-産出性リンパ球を哺乳動物に産出させるための方法と特徴とする。この方法においては、抗原または抗原混合物と水酸化リン酸カルシウム (HCP) 粒子とからなる免疫原を哺乳動物の粘膜炎面に投与する。本発明のこの第1の面における好ましい態様では、抗

出される。

自然に免疫された宿主中におけるIG A抗体は、上皮細胞及び分泌細胞の基底（内側）表面上にある特異的レセプター（ポリ-IGレセプターと呼ばれる）と結合することによって、呼吸系、消化器系、生殖系及び乳腺を通じての分泌へと輸送される。The Mammary Gland, Neville and Daniel Eds., Plenum Publishing, Cambridge (1987) に記載の Solarí and Kraehenbuhl, "Receptor-Mediated Trans epithelial Transport of Polymeric Immunoglobulin a", p. 269-298; Mestecky, J., *Clin. Immunol.*, **7**: 265-276 (1987) を参照されたい。レセプター-IG A複合体はこれらの細胞を通過して輸送され、腔腔（外側）細胞表面上にエキソサイトーシスされ、ここでレセプターが酵素的に開裂して、分泌成分 (SC) と呼ばれるレセプター断片と共に、IG Aが分泌される。Mostovs, *Proc. Natl. Acad. Sci. USA*, **77**: 7257-7261 (1980); Solarí, R. and Kraehenbuhl, *J. Biol. Chem.*, **256**: 12490-12495 (1981) 参照。分泌成分はタンパク質分解を減少することが報告されている [Lindh, J., *J. Immunol.*, **114**: 284-286 (1975); Brown, Neucomb, Ishizuka, *J. Clin. Invest.*, **49**: 1374 (1974)]。

一般的に、抗原注入を含む既存の免疫方法は、全身を循環して、病原体が体内に入った後にこれを中和するようなIG Gクラスの抗体産出を引き起こす。抗原の注入は一般に本質的なIG A応答を引き起こさない。

粘膜炎門におけるIG A産出の利点を得るための各種試みには、免疫された哺乳動物の粘膜炎保護のための、または免疫された哺乳動物の粘膜炎分泌を用いる異種動物間の受動保護のための経口免疫感作が含まれる [Glass et al., *New Eng. J. Med.*, **308**: 1392 (1983); Fubara et al., *J. Immunol.*, **111**(2): 395-403 (1973)]。病原体侵入か

原因作リンパ球が回復して不死となり、IG A産出性ハイブリドマを生成するようになる。

本発明に特有の第2の実施態様は、上記の免疫原を哺乳動物の粘膜炎面に投与することからなる、哺乳動物（特にヒト）を予防接種する方法と特徴とする。

他の実施態様は、粘膜炎を通過しての治療物（例えば医薬品）の配送と特徴とする。

本発明はまた、活性成分と上皮細胞を通過する輸送のために適したサイズの水酸化リン酸カルシウム粒子とを含む組成物を特徴とする。

本発明のいずれの好ましい実施態様においても、水酸化リン酸カルシウムは上皮細胞を通過する輸送に適した微粒子である。また好ましくは、抗原はウィルスコート、エンベロープタンパク質のような、病原体または精子の外的に入手可能な抗原決定基、リポ多糖、或いは細胞表面のタンパク質からなる。HCPの一つの形はヒドロキシアパタイト (HA) であり、これは以下に記載する市販の結晶水酸化リン酸カルシウムである。

本発明の活性成分を投与する好ましい方法は、経口、経鼻、経耳、経直腸、経眼または中耳への投与である。経口投与は腸胃粘膜炎を含む他のG, I, 粘膜炎への配送を可能にする。

本発明は粘膜炎に付着し、その生物学的効果、例えば粘膜炎免疫への提供を行うために上皮細胞間門を効果的に通過しうる効率的な多価複合体を提供する。活性成分、特にタンパク質のHCPへの吸着は比較的簡単、迅速かつ安価で本発明を経済的に容易なものとする。さらに、HCPはタンパク質や他の抗原を含む、目的の抗原に対する親和性が一般に高く、このため本発明は適用範囲が広い。HAが骨の必須成分であり、また全身の免疫系が正常な骨の再吸収（これは健康な個体で数センチのレベルで常にかかる過程である）中にHAと日常的に出会うという事実からも明らかのように、HCPは一般に非毒性である。従って、鈍鈍HAは宿主免疫応答を引き起こすことなく、恐らくは安全に投与することができ、また抗一価刺激免疫応答を引き起こすことなく同一のまたは異なる抗原に阻害剤として繰り返し投与できる。さらにHCP、特にHAはM細胞による経上皮輸送に適したサイズに容易に小さくでき、このような小さいサイズは細胞内皮組織系のマ

クロファージ及び他の細胞による食作用には好適であり、免疫応答を増強する。最後に、本発明によるM細胞取り込み及び輸送は比較的特異性がある。

本発明のその他の特徴及び利点は以下に記載する最良の形態により明らかとなるであろう。

[発明を実施するための最良の形態]

図面

図1はM細胞を透過する抗原のトランスサイトシスを表す図である。

試験

一般に、以下に述べる方法と材料はIgA保護のための方法の一部として用いることができ、この方法については本出願と同時に出版したNeutra, Krasschenbuhl及びWalzの「合成ポリ-Igレセプター、レセプター-抗体複合体、その製造及び使用」と題する共有特許出願（参照により本明細書に包含される）にさらに詳しく記載されている。特に、本発明の免疫原及び方法は、受動免疫のためのポリIg試験を作るために上記参照出願に記載された安定剤タンパク質と共に使用することができる。

本発明の好ましい態様はヒドロキシアパタイト-抗原複合体及びその使用を特徴とする。特定すれば、ヒドロキシアパタイトは結晶性リン酸カルシウムの結晶形、 $\text{Ca}_5(\text{PO}_4)_3(\text{OH})$ である。これは、その一般的なタンパク質結合能の故にタンパク質分画試薬として用いられているものである。市販のHAは一般に正常な骨組織に存在する無機HAの化学的及び物理的類似体である平板状結晶からなる。粉末の骨に由来する栄養性カルシウム/リン酸補助剤が食用として存在していることを考えると、出展物質が不純物を含んでいない限り、HAを食することは比較的安全である。

市販の高溶解性HA (Calbiochemより入手) は各種のサイズの結晶からなる。製造者から提供されるHA結晶は、上皮細胞を効果的に透過するには全体的に大きすぎる。例えば、長さが1 μm 以上の結晶はM細胞によって取り込まれそうにない。従って、本発明に用いるには、市販のHA結晶を例えば超音波処理によって、小さな、比較的均一な結晶性断片に碎断する。

Lambdoid), ストレプトコッカス (*Streptococcus*)、呼吸シチウムウィルス、ロタウィルス、レオウィルス、ヒト免疫不全ウィルス、ヒトT細胞リンパ腫関連ウィルス、タイプI及びII、ポリオウィルス、リノウィルス、インフルエンザウィルス、ヘルペスウィルス、ヒトパピローマウィルス、*Pneumocystis* のようなAIDS 2° 病原体、及び *monilia* のような酵母菌に対する保護として有用である。本発明はまた呼吸系または消化系粘膜表面と接触するアレルギーに対する保護としても有用である。さらに腔中で精子と接触して、これが卵管及び子宮を通って移動するのを防ぐことにより、避妊剤としても用い得る。

いずれの場合でも、適当な既知の抗原、例えばウィルスコートタンパク質、バクテリア細胞表面タンパク質のような全病原体または外的に提供される抗原、膜タンパク質、リポ多糖、ウィルスカプシドまたはエンベロープタンパク質、病原菌表面膜成分、精子表面タンパク質、または呼吸アレルギーを用いる。Uchidaら、*J. Biol. Chem.* 248:3838-3844 (1973) に記載の、CRM-197のようなトキシド及び不活性化ジフテリア毒素も用いる。所望の保護性抗体を分泌するハイブリドーマを産出するために、上記の方法に従って抗原を用いる。一例として、W088/08437 (参照として本明細書に包含される) は抗-V. cholerae モノクローナルポリ-Ig抗体を生成するのに適した1cPA刺毛タンパク質を開示する。米国特許第4,725,689号は抗-HIVポリ-Igモノクローナル抗体を生成するのに適したHIV (HTLV-III) エンベロープタンパク質を開示する。以下の特許及び特許出願は細菌表面膜、特に *Streptococcus*、タイプBによる感染に対する保護に用いる抗原の調製を開示する：米国特許第4,367,221; 4,367,222; 4,367,223; 4,366,263; 4,207,414 (RE31,672); 及びWO 87/06267。

その他の適した抗原は *Bacterial Vaccines and Local Immunity Proceedings of the Scia*

宮波処理した結晶はいくらかサイズバラツキがあるものの、そのサイズは一般に1 μm を超えない。好ましくはHAの実質的部分が約0.01-0.1 μm の断片として存在する。断片度は標準手法を用いて、電子顕微鏡または光散乱により測定できる。

HAは低い、生理的に安全な濃度で、タンパク質と高い結合活性と速度で結合する。結合はカルシウム部分とタンパク質の酸性及びリン酸基との相互作用、並びにリン酸とタンパク質の塩基性基との相互作用によると考えられる。高分子量のタンパク質はHAによりしっかりと吸着される傾向があるが、タンパク質の電荷も役割を果たしている。例えば、HA 1gはウシ血清アルブミン約30mgと結合できる。かくして、HAは緩衝剤を加えることなく、激しい、変成化条件を用いることなく、しかも貴重な純粋抗原を浪費することなく、希釈溶液中からタンパク質抗原を効果的に捕獲することができる。

用途

HA吸着した抗原はヒトまたは他の哺乳動物の予防接種に用いることができる。本発明は特にシュドモナス・アニルギノサ (*Pseudomonas aeruginosa*)、ヘモフィルス・インフルエンザ (*Hemophilus influenza*)、ビブリオ・コレラ (*Vibrio cholerae*)、ボルデテラ・ペルツシ (*Bordetella pertussis*)、コリネバクテリウム・ジフテリア (*Corynebacterium diphtheriae*)、大腸菌 (*Escherichia coli*)、サルモネラ・チフィおよびチフィリウム (*Salmonella typhi* 及び *typhimurium*)、クロストリジウム・ペルFRINGENS (*Clostridium perfringens*) 並びに腸のクロストリジウム (*Clostridium*)、シゲラ・デセンテリ (*Shigella dysenteriae*)、シゲラ・フレクスネリ (*Shigella flexneri*)、ネisseria・ゴノルヘア (*Neisseria gonorrhoea*)、トリコモナス (*Trichomonas*)、エンタメバ・ヒストリチカ (*Entamoeba histolytica*)、ギアルジア・ランブリア (*Giardia*

vo International Conf., Siena, Italy 17-19 November 1986) に開示されている。HIV抗原に適合した特製の試薬がSIDS Research and Reference Reagent Program, National Institute of Health, June 1989) に開示されている。例えばg120 (MycroGeneSys, Inc. から販売されている。LDH-C4のような精子細胞表面抗原も公知である。例えばShah and Taiwar, *Vaccine* 7:97-100 (1989); Shahら, *Int. J. Androl.* 11:479 (1988) を参照されたい。

本発明を実施するための抗原の選択で特に重要なことは、粘膜保護が体内への侵入を防ぐための障壁を含み、このメカニズムは重合抗体が病原体を殺したり、または「中和」する必要がないということである。これとは対照的に、全身性 (IgG) 保護は、これを効果的なものとするには、一般に病原体を中和しなければならない結合を含んでいる。従って、*Vibrio cholerae* と特異的に結合するモノクローナル抗体の存在から明らかのように、病原体と結合する全てのIgG抗体が保護的であるという訳ではなく、宿主中で病原体がコロニーを作り、成長し、臨床症状をあらわすのを防ぐという意味においては、病原体を中和するものではない。そこで保護性IgA抗体を高めるために用い得る抗原及び決定基の普遍性がとりわけ増す。

特定すれば、HA-吸着抗原は、上記した方法に従って、大量生産用に適当な緩衝剤を流して調製する。HA-吸着抗原または抗原混合物は生理的に受容し得る賦形剤と混合し、例えば口、鼻、直腸及び/または眼表面のような粘膜表面組織に直接投与するか、あるいは配達する。調製物はエアロゾル、懸濁液、カプセル及び/または錠剤で投与する。当業者には公知の技術を用いてかかる賦形剤を製造することは容易である。

用途

本発明はまたIgA-産出性ハイブリドーマの製造にも特に有用である。例えば上記の組成物を粘膜表面に投与することによって哺乳動物をチャレンジし、次

いでリン脂質に富むバイエル板粘膜または他の粘膜からリン脂質を回収し、次いで公知技術により該リン脂質をミエローマと融合させることによって、かかるハイブリドーマは容易に生産できる。例えば先に引用した共有の、本願と同時出願の本願特許出願第07/510,161号を参照されたい。

以下に実施例を記載するが、これは本発明の範囲を限定するものではない。

実施例 1

PBS 20mlに懸濁したHA (Calbiochem) 2gをMicroson cell disrupter (Heat Systems Ultrasonics, Inc., Farmingdale, NY) の"HIGH"目盛り(140, 80% duty cycle)を用いて、室温で、30分間、ブローソニケーターで音波処理する。電子顕微鏡で測定した音波処理後の平均の結晶サイズは約0.01x0.1μmである。適切な音波処理を分光光度吸収によってモニターする。例えば、音波処理済みの懸濁液2mg/mlの吸収(650nmで読み取り)は0.108 O.D. ユニットであり、上記の結晶サイズの減少後は2.060 O.D. に増加した。

実施例 2

65kD (アルブミン) から450kD (フェリチン) までの各種のサイズのタンパク質で飽和になるまでコートしたこのサイズのHA結晶を、マウス及びウサギの脾臓に導入すると、HA結晶は特異的に結合し、バイエル板のM細胞によって輸送された。この方法は粒子状免疫原の形で粘膜炎免疫系の細胞にタンパク質を効果的に配達する。

25gのマウスを経口予防注射するには、PBS 200μl中の少量のタンパク質(例えば30μg)を、適量の(例えばタンパク質30μg)に対してHA1mg)あらかじめ音波処理して洗浄しておいたHAと混合する。混合物を4℃、で1時間攪拌し、これをマイクロチューブ中で10,000rpm、2分間スピニングすることによって凝縮とする。この凝縮を、胃酸を中和するための緩衝液を含む水2.00μl中で攪拌、音波処理することにより、再懸濁する。

その他の実施例は以下の請求の範囲に記載する。

要約書

抗原または抗原混合物と水酸化リン酸カルシウム(ヒドロキシアパタイト)からなる免疫原を哺乳動物の粘膜炎表面に投与して、抗原感作されたIgA-産出性リンパ球を哺乳動物中に生産させる方法。

国際調査報告

1. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER		2. FIELD OF SEARCH	
IPC (3) 6613 30/12, 31/05, 30/305, 37/101 A01H 37/10 USC1: 424/603, 88, 89: 514/7, 2		U.S. Cl: 424/603, 88, 89: 514/7, 2	
3. SUMMARY OF INVENTION		4. REFERENCE TO OTHER PUBLICATIONS	
A. JP. A. 6,175,288 (NIPPON-KEN, Friend) 26 March 1986, new abstract.		1-3, 4	
A. JP. A. 63,106,281 (NIPPON-KEN, Friend) 19 August 1986, new abstract.		10-13	
A. JP. A. 65,101,145 (NIPPON-KEN, Friend) 11 June 1986, new abstract.		1-13	
Y. JP. A. 3,722,440 (NIPPON-KEN, Friend) 22 December 1986, see entire document.		1-13	
5. STATE OF THE ART			
6. STATE OF THE ART			
7. STATE OF THE ART			
8. STATE OF THE ART			
9. STATE OF THE ART			
10. STATE OF THE ART			
11. STATE OF THE ART			
12. STATE OF THE ART			
13. STATE OF THE ART			
14. STATE OF THE ART			
15. STATE OF THE ART			
16. STATE OF THE ART			
17. STATE OF THE ART			
18. STATE OF THE ART			
19. STATE OF THE ART			
20. STATE OF THE ART			
21. STATE OF THE ART			
22. STATE OF THE ART			
23. STATE OF THE ART			
24. STATE OF THE ART			
25. STATE OF THE ART			
26. STATE OF THE ART			
27. STATE OF THE ART			
28. STATE OF THE ART			
29. STATE OF THE ART			
30. STATE OF THE ART			
31. STATE OF THE ART			
32. STATE OF THE ART			
33. STATE OF THE ART			
34. STATE OF THE ART			
35. STATE OF THE ART			
36. STATE OF THE ART			
37. STATE OF THE ART			
38. STATE OF THE ART			
39. STATE OF THE ART			
40. STATE OF THE ART			
41. STATE OF THE ART			
42. STATE OF THE ART			
43. STATE OF THE ART			
44. STATE OF THE ART			
45. STATE OF THE ART			
46. STATE OF THE ART			
47. STATE OF THE ART			
48. STATE OF THE ART			
49. STATE OF THE ART			
50. STATE OF THE ART			
51. STATE OF THE ART			
52. STATE OF THE ART			
53. STATE OF THE ART			
54. STATE OF THE ART			
55. STATE OF THE ART			
56. STATE OF THE ART			
57. STATE OF THE ART			
58. STATE OF THE ART			
59. STATE OF THE ART			
60. STATE OF THE ART			
61. STATE OF THE ART			
62. STATE OF THE ART			
63. STATE OF THE ART			
64. STATE OF THE ART			
65. STATE OF THE ART			
66. STATE OF THE ART			
67. STATE OF THE ART			
68. STATE OF THE ART			
69. STATE OF THE ART			
70. STATE OF THE ART			
71. STATE OF THE ART			
72. STATE OF THE ART			
73. STATE OF THE ART			
74. STATE OF THE ART			
75. STATE OF THE ART			
76. STATE OF THE ART			
77. STATE OF THE ART			
78. STATE OF THE ART			
79. STATE OF THE ART			
80. STATE OF THE ART			
81. STATE OF THE ART			
82. STATE OF THE ART			
83. STATE OF THE ART			
84. STATE OF THE ART			
85. STATE OF THE ART			
86. STATE OF THE ART			
87. STATE OF THE ART			
88. STATE OF THE ART			
89. STATE OF THE ART			
90. STATE OF THE ART			
91. STATE OF THE ART			
92. STATE OF THE ART			
93. STATE OF THE ART			
94. STATE OF THE ART			
95. STATE OF THE ART			
96. STATE OF THE ART			
97. STATE OF THE ART			
98. STATE OF THE ART			
99. STATE OF THE ART			
100. STATE OF THE ART			

BEST AVAILABLE COPY

第1頁の続き

⑦発明者 アメロンゲン, ヘレン・エム

アメリカ合衆国マサチューセッツ州02130, ジャマイカ・ブレイ
ン, ロックビュー・ストリート 89, ナンバー 2

⑧発明者 ニュートラ, マリアン・アール

アメリカ合衆国マサチューセッツ州01770, シェアボーン, プロス
ペクト・ストリート 43

⑨出願人 アンステイチュー・シユイス・
ド・ルシエルシユ・エクスペリ
マンタル・シユール・ル・カン
セール

スイス連邦セアシユ-1066 エバリンジュ・シユマン・デ・ボヴエ
レス (番地なし)

HYDROXYAPATITE-ANTIGEN CONJUGATES AND METHODS FOR GENERATING A POLY-IG IMMUNE RESPONSE

Publication number: JP4507106T

Publication date: 1992-12-10

Inventor:

Applicant:

Classification:






- international: A61K39/00; A61K9/00; A61K9/51; A61K39/385; A61K39/39; A61K47/04; A61K47/48; A61K39/00; A61K9/00; A61K9/51; A61K39/385; A61K39/39; A61K47/02; A61K47/48; (IPC1-7): A61K39/00; A61K39/385; A61K47/04

- european: A61K47/48H2; A61K9/51; A61K39/39

Application number: JP19910507783 19910416

Priority number(s): US19900510154 19900416

Also published as:

 WO9116072 (A1)
 EP0477339 (A1)
 US5443832 (A1)
 OA9525 (A)
 EP0477339 (A4)

more >>

[Report a data error here](#)

Abstract not available for JP4507106T

Abstract of corresponding document: **WO9116072**

A method for generating antigen-sensitized Ig-A-producing lymphoblasts in a mammal, using an immunogen comprising an antigen or antigen mixture in association with hydroxylated calcium phosphate (hydroxyapatite) is administered to a mucosal surface of the mammal.

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide